

## 飯能新校校名案（事務局案）

校名案（事務局案）	基準	校名としての考え方（理由）	参考事項
飯能高等学校	(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域を示す」としたアイデア。</li> <li>・飯能高校と飯能南高校という普通科同士が統合する飯能市に唯一の高校として、シンプルに地域（市）名を冠するもの。</li> <li>・飯能市の中心に位置し、市の歴史とともにあり続けた老舗の看板校名が「飯能」である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同一市の学校同士を統合させる場合、全国的には地域名のみ校名とするケースが多い。</li> <li>・校名アイデアには、「はんのう高等学校」という平仮名表記もあった。</li> </ul>
飯能第一高等学校	(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域名+ 」のアイデアの1つ。</li> <li>・飯能市第一の高校であること、大正年代から続く飯能市の高等学校教育の伝統を表現するもの。</li> <li>・伝統ある旧制中学校や新制高等学校に多く用いられたという歴史がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧制第一尋常中学（現浦和）や、新制高校では、浦和第一女子などの例がある。</li> <li>・その他、県内には深谷第一（S51 改称）、羽生第一（S51 開校）の例がある。</li> </ul>
飯能中央高等学校	(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域名+ 」のアイデアの1つ。</li> <li>・新校が飯能市の中心市街地に設置されることから、飯能の中央に位置した高校であるとしたもの。</li> <li>・大正年代から続く飯能市の高等学校教育の中心的存在となることを表現するもの。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内では、所沢中央や大宮中央の例がある。</li> <li>・他県では、「県名+中央」の校名が多い。秋田中央、静岡中央、福岡中央などの例がある。</li> </ul>
奥武蔵高等学校	(3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域名を冠していない校名案。</li> <li>・奥武蔵は県立奥武蔵自然公園を有する地域の代表的な名称である。</li> <li>・飯能市には奥武蔵（奥むさし）の名を冠した小中学校や観光協会があるなど、市民にとっては馴染みあるものである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成31年4月に施設隣接型小中一貫校の「奥武蔵創造学園」が開校している。</li> <li>・郊外の奥武蔵エリアと中心市街地に立地する新校とをイメージ的に重ねるための工夫が必要か。</li> </ul>
天覧山高等学校	(3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域名を冠していない校名案。</li> <li>・天覧山は飯能市街からほど近いところに位置する山の名から取ったもので、飯能市を「象徴」するもの。</li> <li>・同山は埼玉県景勝地指定第1号に指定されており、市民や観光客から愛され、多くの人々が訪れている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天覧山は、明治天皇が近衛兵の演習を山の頂から統監されたことから名づけられた。</li> <li>・他県に住む方からは、天覧山が飯能市に位置することを認識しづらいことが考えられる。</li> </ul>